

緊縛主義

忠光切台燭
×
部谷長切へし
GGG
toukenranbu
fanbook05
2015.07

式 R18



は、燭台切光忠。青銅の燭台だつて切れるんだよ。

……うーん、やっぱり格好つかないな

参ったな……これじゃ格好つかないね

長谷部くんとは結構気が合いそうなんだけどねえ。
でも彼、元の主のこと嫌ってるから話が合わないか

ご指名かいつ？じしゃあ、期待にたえないと

審神者殿の部屋で
縛られている
長谷部君を見た時

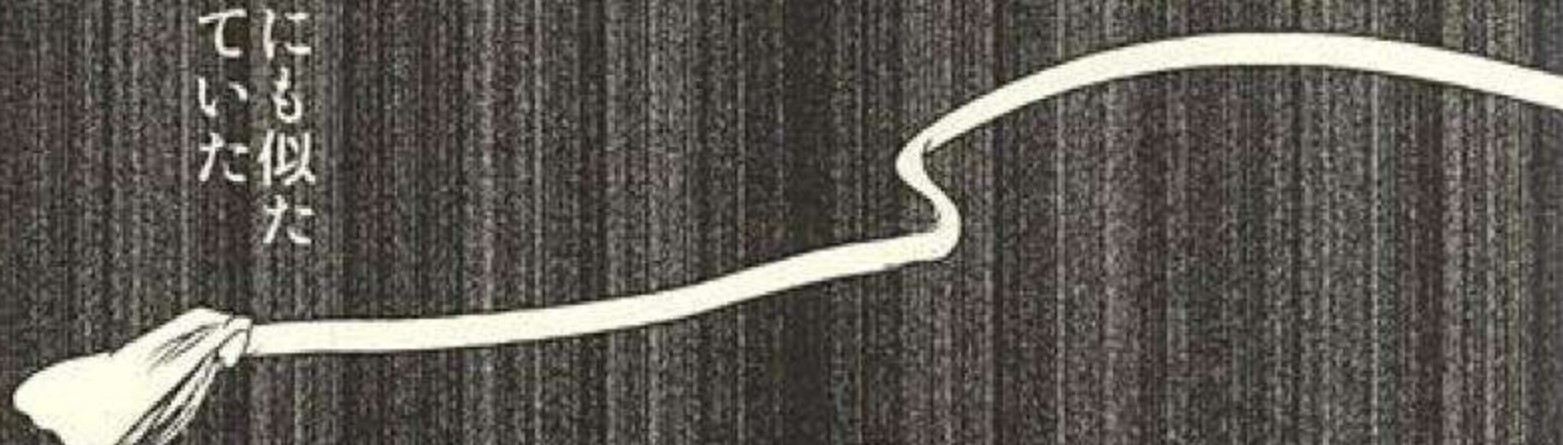
初めて自分の
理性の糸が
切れる音を聞いた

これは
僕の生い立ちの
せいかもしれないが

焼けてしまった心は
誇りも自尊心も薄れ

何処か：
そう…虚無にも似た
感情を持っていた

君はよく周りの刀達の事を
見ているから助かるよ





主殿の言葉に
一瞬時が止まった

燭台切

?

どうした?

…いえ

何でもありませんよ
主殿



あまり無茶を
させたくないが…

おや本当ですわ
君は本当に目が利くわ

紫陽花には恰好の雨だが
君たち刀には負担が大きい

ただ
紫陽花が満開だと
思っただけ…

そうも言っ
て
られませ
んしね

燭台切…

そんなに心配せずとも大丈夫ですよ

遠征は控え討伐も部隊を早めに帰還させるなどしています

皆も協力的です血気盛んな奴らでさえ文句もいませんよ

帰還後は除湿器のある部屋に皆入り浸りです

体が重く気持ち沈んでいくような

主殿は人という体でさえ雨の日は憂鬱になると言っていた

そうですね梅雨が明ければ太陽が味方になってくれることでしょう

それまで辛抱して下さい

はい

僕たち刀は湿気に減法弱い

それはこの体にも影響している

ああ…

この二振りを
除いては

ああ…もう出来たのかい？
早いね流石長谷部君だ

いえ…当然の事です

現在は
夜戦が始まり
結成を大幅に
修正するにあたり

短刀の集中育成を
しています

主

戦闘報告を
お持ちしました

くれぐれも
無茶はしないで
下さいね

そうですね
分かりました

はい

では
失礼します

はい

無視され
ちゃった

燭台切

ちよっと耳を
貸して



あまり長谷部に
無理をさせないように
見ていて下さいね

はい
分かりました…



彼は主命とあらば
その体を使って
何でもしてしまう



まったく…

何処か…
地下にでも縛って
監禁でもしない限り

あの猪は止まりませんよ
主殿…

そんな大変な事
よくも頼んでくれるよね…

長谷部君を
無理させないように？



まるでその体には
意思がないように

平気で傷を負い
平気で壊れようとする

って言えたら
いいんだけど…

何故だろう

確かに
体が気怠くは
なるけど…

…まあ
そんな訳にも
いかないしね…

僕にとつて
雨は

心が少し
浮足立つ



本当に
よく降るな

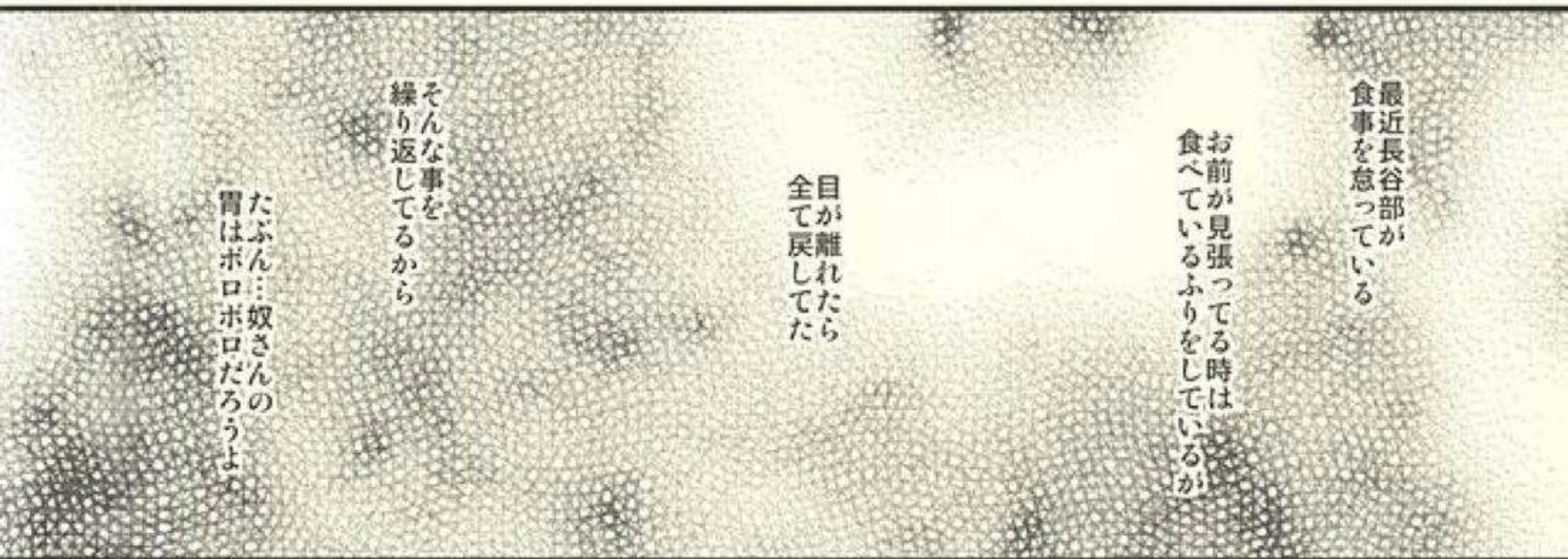


それから
数日経った頃

ちよいと
いいか
燭台切

?

長谷部君の
異変に気づいたのは
薬研だった



最近長谷部が
食事を怠っている

お前が見張ってる時は
食べているふりをしているが

目が離れたら
全て戻してた

そんな事を
繰り返してるから

たぶん…奴さんの
胃はホロホロだろうよ



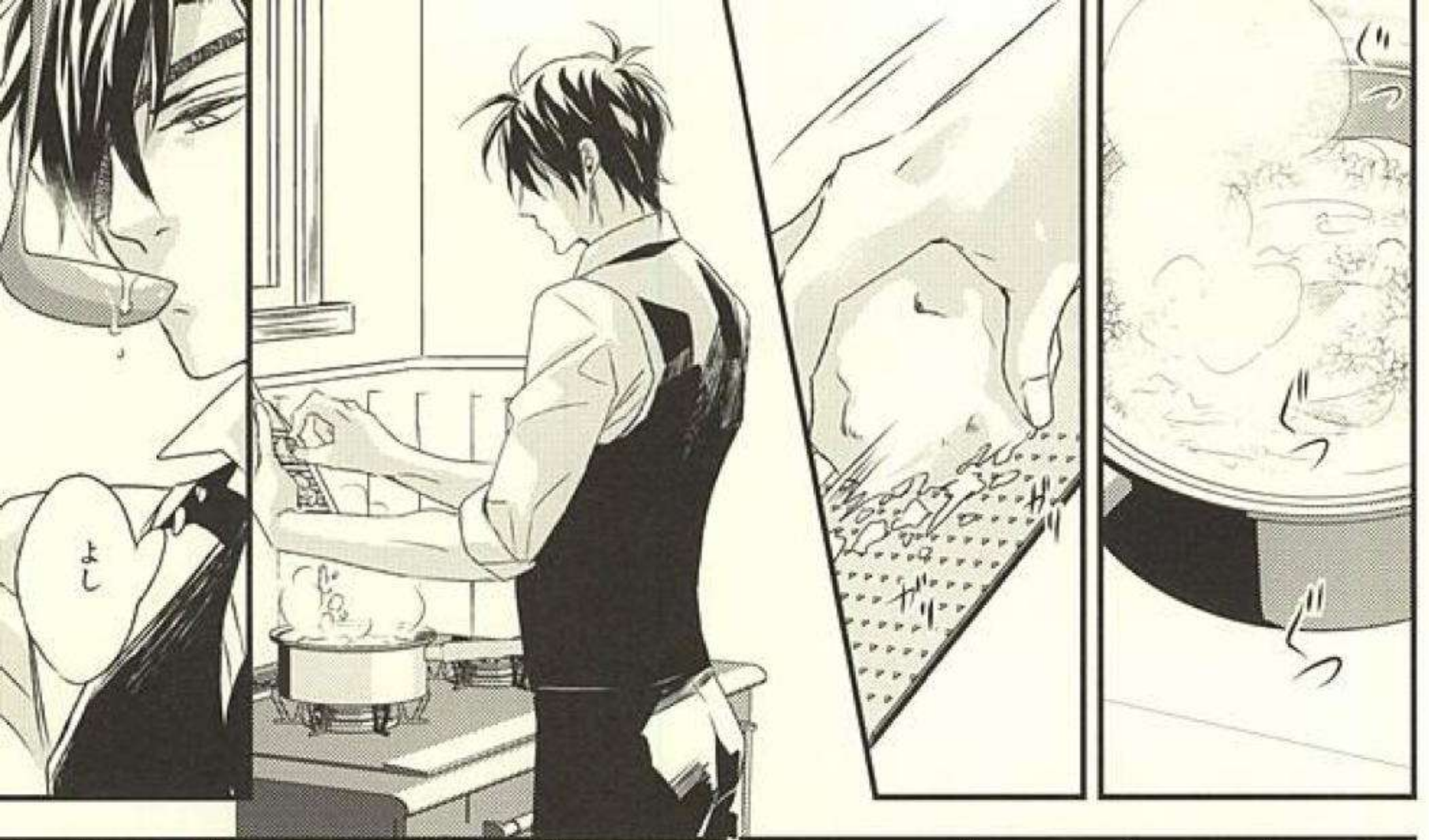
今じゃ食べたたくても
食べられない状態だと
思うぜ

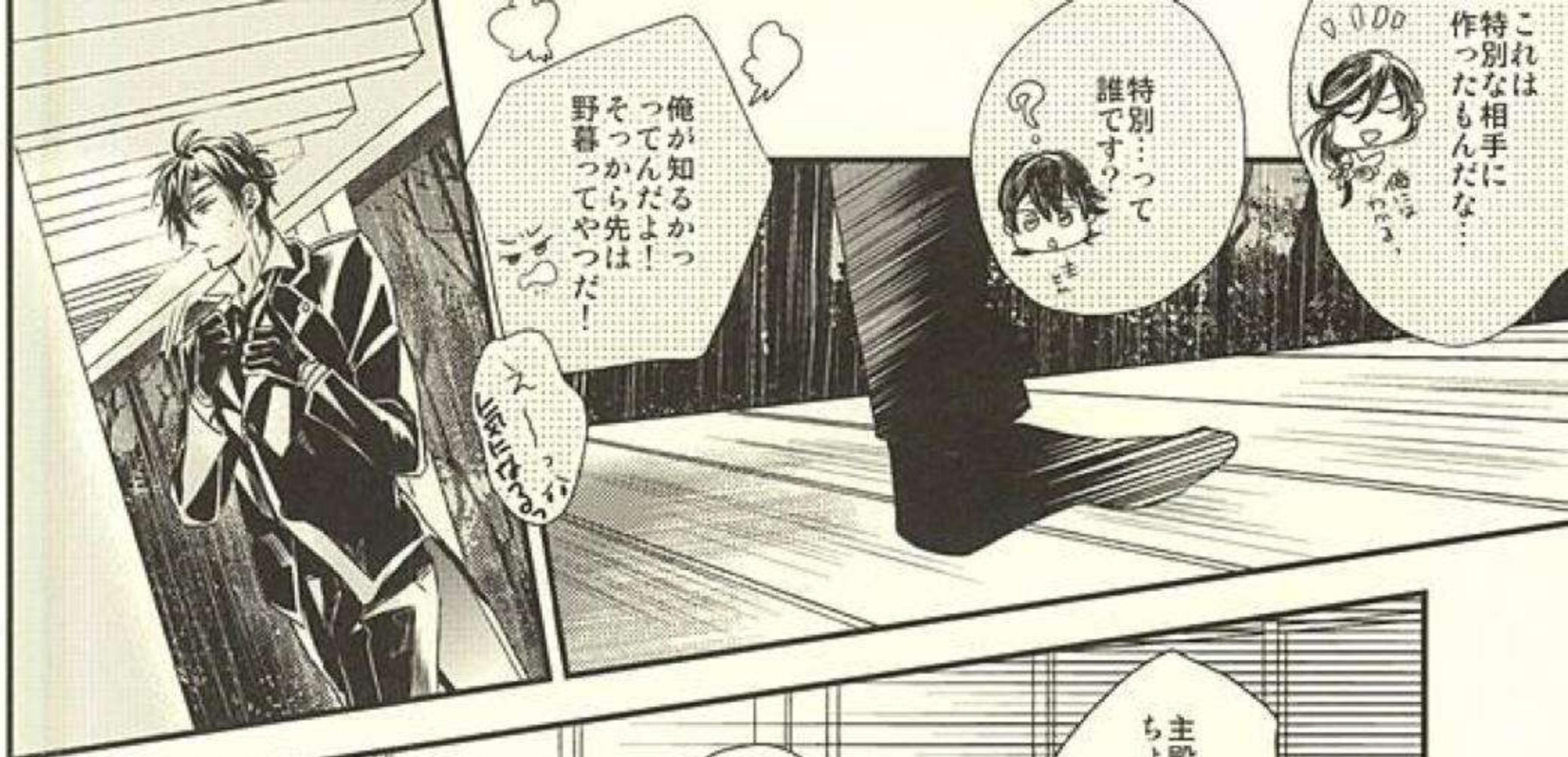
台所
借りるよ!

あ?
今日はおめーの
当番じゃ…

…どーしたんだ?
あいつ…

さあ…







支度部屋

ゴロゴロゴロゴロ

あ
今日も雨かあー！
つか、雷まで
なり出したし！

あ
体が石になった
みたい重い！

雨だと流石の僕らでも
索敵出来るか不安
だよね

だなあ

出来るかじゃなく
やるんだ！

つべこべ言っ
ないでさっさと
支度をしろ！

はあ〜い……

わーっ
つば

確かに
この連日の雨は
戦闘に不利益だ

短刀達の目が
効くとはいえ
この土砂降り……

きっと足場も
悪いだろう

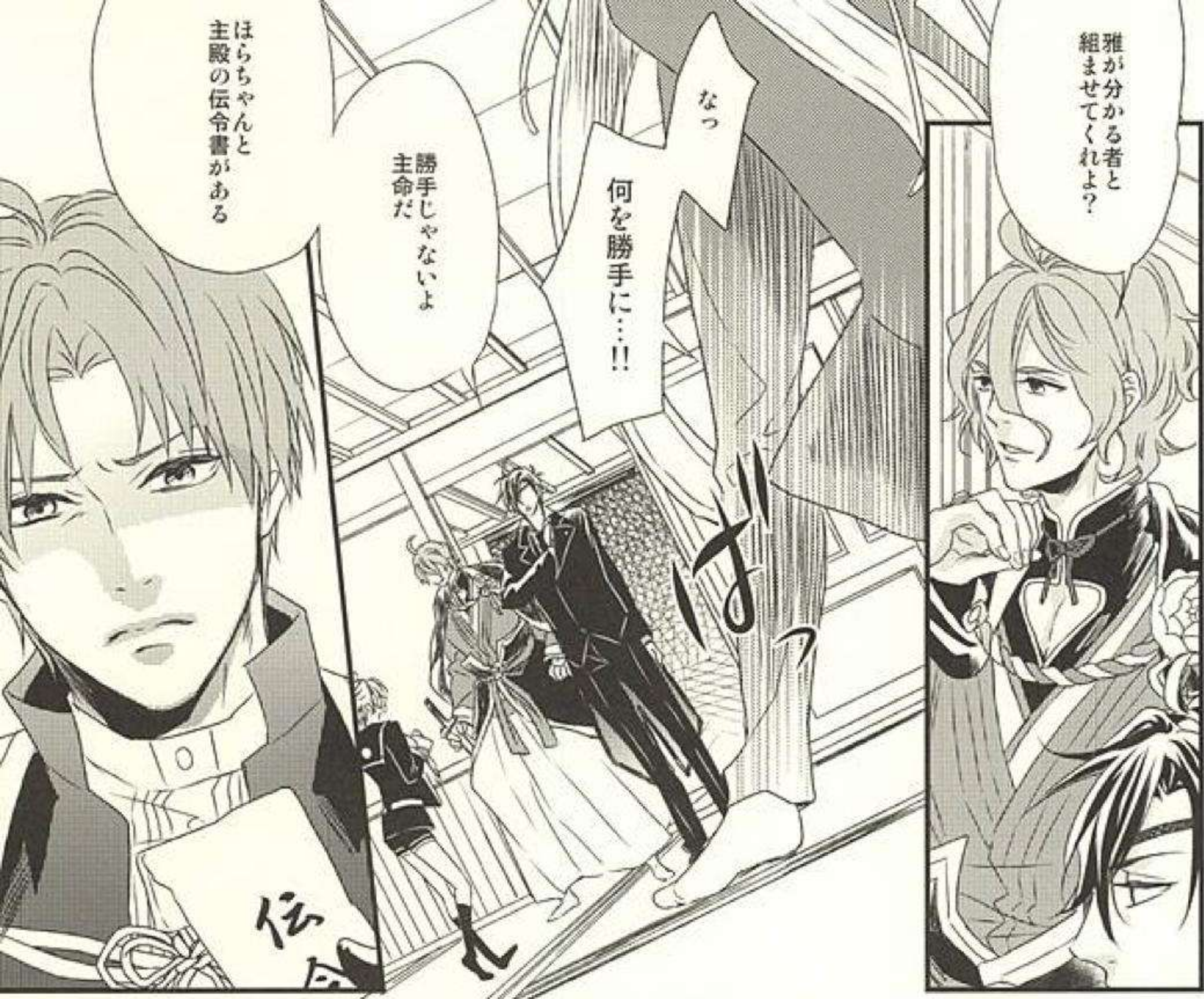
俺達打ち刀は
盾を持ってど
主の命だ

今日は投石を
持っていくか……

急で悪いけど
結成の変更だ

隊長へし切長谷部に
代わって歌仙兼定！





雅が分かる者と
組ませてくれよ？

なっ

何を勝手に…!!

勝手じゃないよ
主命だ

ほらちゃんと
主殿の伝令書がある

伝令

ん



そんな意味の
分らない
伝令があるか！
俺は戦う！

主命に逆らう
のかい？



そっそれとこれとを
一緒にするな!!

離せっ！

いいから…

大人しく
言う事を聞け!!



ご……ごめん！
驚かせちゃったね

あ……

ははは……

ほっ

言う事聞いて
長谷部君
主にだって考えが
あつての事だよ

これ以上醜態
晒したくない
でしょ

……っ



あ……と
出陣前に
騒がせちゃって
ごめんね！

帰還するまで
ご馳走用意して
待ってるから
武運を！

あつ
待って長谷部君！
話はまだ……っ

うーん
なにやら
風流じゃない
ねえ……

ちよつと待って！
長谷部君！！

五月蠅い！
ついてくるな！

離っ

！！

！

力で僕に
勝てると思ってる？

君 今ただでさえ
体力ないんだから
払いのける事なんて
無理だよ

離せ…

おいっ！
人の話を
聞け！！

何処へ行くんだっ
離れは反対だろ…！！

皆が居る離れじゃ
気が散るからね

主殿の部屋を
借りたんだ

！

カラ

していない...

はいから

!

入って
長谷部君

何を...
想像してるの?

い...

あ...

嫌だ...

はっ

...



僕そんなに強く押した
つもりはないよ

ねえ長谷部君
君は気付いてないかも
しれないけど

.....

軽く押しただけで
バランスを崩す程
君は弱っているんだよ

どうして体が辛いと
言わないの？

この雨で弱っているのは
皆同じだよ

君だけじゃない
んだから

意地を張らないで
薬研に薬を調合して
もらうとかしないと

ともかく！

食べて
その体に
力を蓄えないと

君の為にお粥
用意したから

食べて

食欲が無いようだから
塩分少なめにして
さっぱり味に
しているし

ジャガイモをすって
入れているから
消化にいいはず

僕に無理やり
口に入れて欲しく
ないなら食べた
方がいいよ

要らない...



胃が痛むのかい？

この事...主殿が知ったら
第四部隊にも入れないね

は、



今のほ
それだけ君を
扱うのが大変だっ
いう比喩

そんな事になる前に
こうした措置を取ったのは
僕の配慮だよ

……

扱えないなら
捨て置け

主の命でもある

安心して
主殿には君が胃を
悪くしてる事までは
言っていないから

…そう出来たら
楽だろうけどね
でもこれは僕一人の
判断じゃない

まあ…
これ以上君が
拒否をすれば
それもわからない
けど…

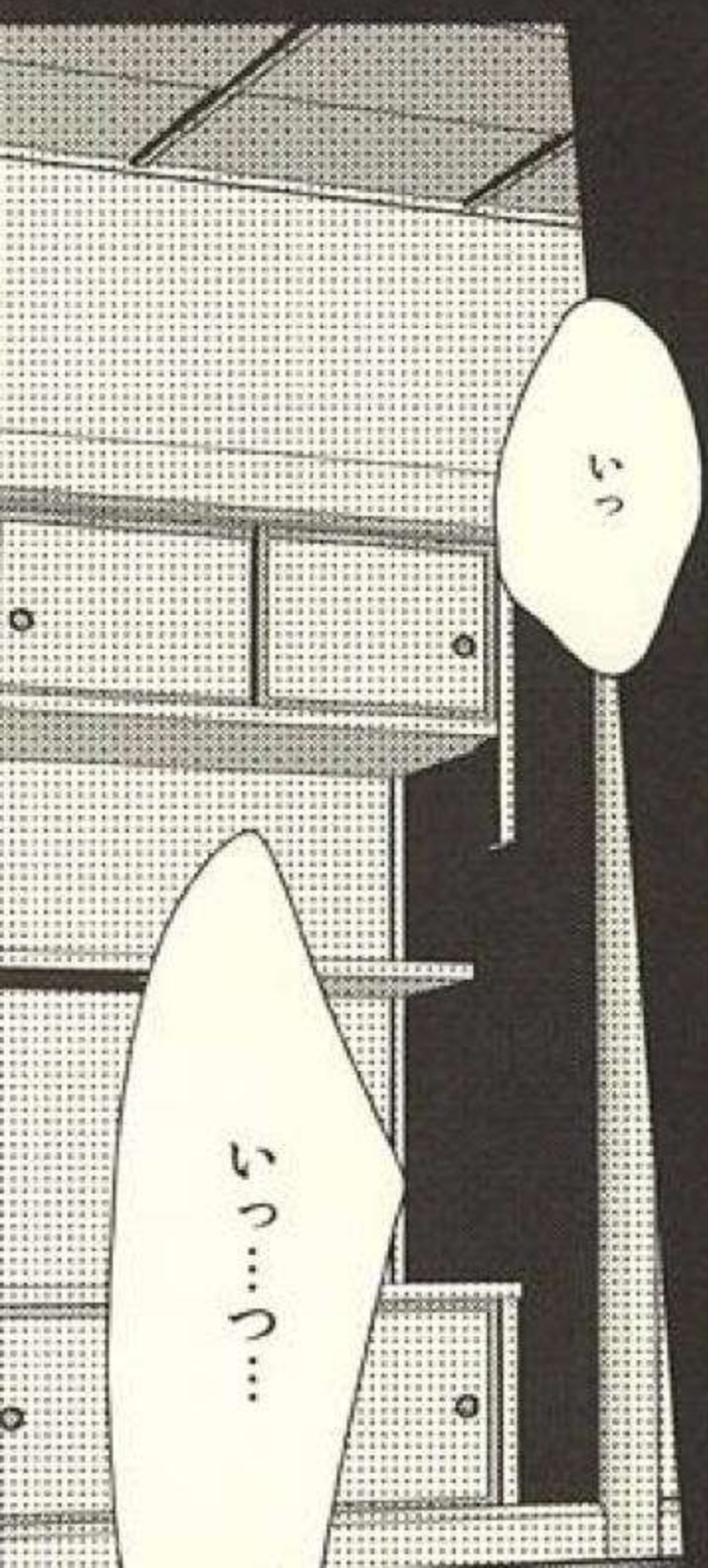
心配症の主に
これ以上気苦労を
かけさせたくない
だろ？

さあ食べて
長谷部君

ス
キ

ス
キ

ス
キ







これって
もしかして



……



誘われて……る？



この一振りの
一言一句で
この僕がこんなにも
振り回されるだなんて……



凄いな……
長谷部君は



深く沈んだ心が

再び燃える
音がする

長谷部君さあ…
分かってる？

こういう事は
誰彼とするもんじゃ
ないからね

俺相手に
こんななる奴が
他に居るか？

悪趣味なのは
お前だけだろ

…そうだね

君は美しいが冷淡

曖昧で移り気な
高慢で無情…

雨がもたらした
二度目の関係は

そんな
紫陽花の花言葉が
びつたりだった

あつ

ああ……





余裕なくて
中に……



長谷部君
ごめん……



悪趣味という
言葉一つで
片付けられて
しまったけど

僕がこんな風に
なるのは、意味
君だつていう意味

……主しか
目に入って
ない君に

分かるわけ
ないか……

けれどそんな君の
真っ直ぐな想いが
僕の心を動かしたが

また僕の心に
火を灯じてくれた

長谷部君へ向ける
特別な気持ち

恋い焦がれるものだ
確信に変わった日

今までの嵐が
嘘のように

梅雨が明けた

